

[A] 江戸幕府の成立・大名統制・朝廷統制

江戸幕府の成立	豊臣氏の滅亡
1590 年 関東 <u> </u> 万石に移封 (北条氏の滅亡後に関東に移封) → <u> </u> 城 (戦国初期に <u> </u> が築城) を拠点とする 年 <u> </u> の戦い (<u> </u> 国) (天下分け目の戦いと呼ばれる) ← ----- [東軍 (約 10 万 4000 人)] ----- <u> </u> (五大老の筆頭)・福島正則 (秀吉子飼いの武断派) 加藤清正 (秀吉子飼いの武断派)・小早川秀秋 (西軍から寝返り) VS ----- [西軍 (約 8 万 6000 人)] ----- <u> </u> (五奉行の一人)・<u> </u> (五大老の一人) ----- (小西隆佐の子)・宇喜多秀家 (五大老の一人) ↓ (関ヶ原の戦い後) <u> </u> は一大名に転落 (<u> </u>・<u> </u>・<u> </u> の <u> </u> 万石) ↓ 年 後陽成天皇が徳川家康を <u> </u> に任命 翌年、全国の諸大名に対し、国単位に <u> </u> と <u> </u> の作成を命ずる ★ <u> </u> (場所を把握する地図)・<u> </u> (石高を把握する検地帳)	1598 年 豊臣秀吉の死去 (子の豊臣秀頼が跡を継ぐ) 豊臣家臣の対立 (武断派は徳川家康への接近をはかる) → 文治派 (石田三成) VS 武断派 (福島正則・加藤清正)
年 将軍職を <u> </u> [2代将軍] に譲る 将軍職が徳川氏の世襲制であることを豊臣氏や諸大名に示すため ★家康は <u> </u> で <u> </u> (隠退した前将軍のこと) として実権を握る 1614 年 <u> </u> (方広寺鐘銘事件が契機) ← ↓ 年 <u> </u> (<u> </u>・<u> </u> (秀頼の母) 自殺→豊臣家滅亡) →以後、<u> </u> (戦のない平和の時代のこと) の到来	1614 年 <u> </u> 鐘銘事件 (方広寺は秀吉が創建) 釣鐘の銘文「<u> </u>」・「<u> </u>」を家康が問題視 ★ <u> </u> (臨濟宗の僧・家康の顧問)・<u> </u> (天台宗の僧・家康の顧問) が関わる
大名統制	朝廷統制
年 <u> </u> (大坂夏の陣の直後に発布される) ↓ 年 <u> </u> (<u> </u> 令 = <u> </u> 条) 起草者 = <u> </u> 制定 = <u> </u> の命令で諸大名を <u> </u> 城に集めて、<u> </u> の名で発布 趣旨 = 大名に対する基本法典 (旗本・御家人には諸士法度を定める) 内容 = ① <u> </u> の道 (文武) の奨励・②城郭の新築と無断修築の禁止 ③ <u> </u> の禁止 (大名同士の婚姻は幕府の許可を必要とする) ④大名同士の使役を禁じる・⑤法度違反者の領内隠匿の禁止 ⑥諸大名参勤の作法 (参勤交代の制度化ではなく作法について) ----- [大名の処分 (武家諸法度違反・世継ぎ断絶などが理由)] ----- ① <u> </u> (領地没収)・② <u> </u> (領地削減)・③ <u> </u> (国替え) ex. <u> </u> (安芸広島城主→城郭修築の項に違反し所領没収) 松平忠輝 (越後高田藩主)・松平忠直 (越前福井藩主) ----- (宇都宮藩主)・----- (肥後熊本城主) (武家諸法度は7代家継・15代慶喜を除き、将軍の代替わりごとに発せられた)	1611 年 徳川家康が <u> </u> 天皇 (後陽成皇子) を擁立 年 <u> </u> (<u> </u> 条) (起草者 = <u> </u>) 趣旨 = 天皇・公家に対する統制法 (朝廷統制の基本法令) 目的 = ①天皇・朝廷が自ら権力をふるうことを防ぐため ②天皇・朝廷と大名が結びつくことを防ぐため 内容 = ①天皇の <u> </u> 第一・②公家の席次・③摂関の任免 ④武家官位は公家官位と別にする・⑤元号の制定 ⑥ <u> </u> (高僧に与えられる紫色の衣) 勅許の条件 ----- [朝廷の統制] ----- ① <u> </u> (朝廷を監視する役職→初代に板倉勝重を任命) ② <u> </u> (朝幕間の連絡にあたる役職→2名の公家を任命) ③ <u> </u> (天皇領) = 1 万石 (家康) → 3 万石 (綱吉) ④公家領 (100 家以上) = 7 万石 1620 年 <u> </u> (徳川秀忠の娘) が <u> </u> 天皇に入内
年 <u> </u> (<u> </u> 令 = <u> </u> 条) 起草者 = <u> </u> ① <u> </u> の制度化 (毎年 <u> </u> 月交代で参勤することを義務付ける) 内容 = (1) <u> </u> 国元と江戸を1年交代で往復・大名妻子の江戸居住を強制 (2) 石高に応じた人数を率いて参勤 (人数を減らすよう命令) →将軍が課す軍役の一環で主従関係を確認する意味がある 影響 = (1) 参勤の道中費用と江戸藩邸の滞在費による藩財政の窮乏化 (2) 交通 (街道・宿場など)・江戸など三都の全国市場の発達 (3) 江戸文化の地方伝播 (大名が地方と江戸を往復するため) ★例外…関東の大名 = 半年交代・水戸藩 = 江戸定府 対馬の宗氏 = 3年に1回・蝦夷の松前氏 = 5年に1回 ② <u> </u> 石積以上の大船建造禁止 ③私設の <u> </u> (領内の港で物資の移出入を禁止すること) を禁止	1627 年 ~ <u> </u> (後水尾天皇の紫衣勅許を幕府が無効とする) ↓ → <u> </u> (大徳寺の僧) を <u> </u> 国に配流 1629 年 <u> </u> 天皇が <u> </u> 天皇 (後水尾皇女) に譲位 ★ <u> </u> (<u> </u> 上皇が造営した <u> </u> の山荘) 1615 年、幕府は禁中並公家諸法度第 16 条で <u> </u> (天皇が高僧に与える紫色の衣) 着用の勅許を制限した。しかし、幕府への許可なく後水尾天皇が紫衣着用の勅許を続けたため、1627 年に幕府はこれを無効として紫衣を取り上げ、抗議をした大徳寺の <u> </u> を <u> </u> 国に配流した。これにより、天皇の勅許より幕府の法度が優先されることが明示された。その後、これに反発した <u> </u> 天皇は突然譲位を発表し、<u> </u> 天皇 (後水尾天皇と徳川和子の皇女) が即位した。

[B] 幕藩体制 (幕府と藩による民衆支配体制)

幕 藩 体 制

(石以上の将軍直属の武家 / ～ 家)

(徳川氏一門の大名→要地に配置)

ex. _____ = _____ () ・ _____ () ・ _____ ()
 _____ = _____ () ・ _____ (宗尹) ・ _____ (重好)

(三河以来の徳川氏家臣で大名に取り立てられた者→要地に配置)

(_____ の戦い以後、徳川氏に臣従した大名→遠方に配置)

[諸大名の負担]

- ①戦時＝ _____ (石高に応じて、一定数の武器・人数を用意する)
 ②平時＝ _____ (城郭・河川工事などの土木事業に動員する _____ など)

(一万石未満の将軍直属の家臣/約22000人)

_____ = _____ 以上 (将軍に謁見できる)

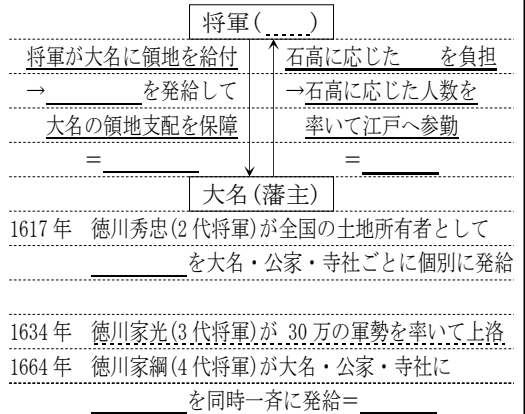
_____ = _____ 以下 (将軍に謁見できない)

★御家人のほとんどは知行地を持たず、将軍から俸禄(蔵米)を支給される

[江戸幕府の経済基盤]

- ① _____ () = 約 _____ 万石 (総石高の約 分の1) ★総石高=約 _____ 万石
 ② _____ = 約 _____ 万石 (天領・旗本領の合計=総石高の約 分の1)
 ③直轄鉱山＝ _____ (金山) ・ _____ (銀山)
 ★ _____ (徳川家康の側近として佐渡金山・石見銀山などの鉱山開発にあたる)
 ④直轄都市＝ _____ (将軍のお膝元=人口15万人→100万人)
 (三都) _____ (天下の台所=人口30万人→40万人)
 _____ (千年の古都=人口40万人→35万人)

図解NOTE① [大名知行制]



図解NOTE② [藩政]

- ① _____ (知行地をもつ知行取)
 大名が家臣に領地(知行地)を与え、その領地支配を認める
 ★一国一城令(1615)により、大名の居城以外は取り壊し
 →支城を破壊したことで家臣の城下町への集住が促進され、大名と対抗しうる有力家臣の弱体化させる効果をもった
- ② _____ (知行地をもたない蔵米取)
 知行地を持たない家臣に俸禄(俸禄米・禄米・蔵米・切米)を支給
 ★家臣は _____ (藩政を統轄) ・ _____ (藩の農政を統轄) ・ _____ (手代・郷目付(郡奉行の配下)などの役職に就く)

→ _____ より任命

(臨時の最高職)

★ _____ の4氏から任命

(政務の総括・常置の最高職)

★初期は _____ という

(老中の補佐・旗本と御家人の統轄)

(寺社の監察)

★ _____ の死により機構化された

(朝廷・西国大名の監察)

★京都町奉行などを統轄

(西国大名の監察)

→ _____ より任命

(幕府の財政・天領の訴訟)

(広域の天領を支配＝ _____)

(その他の天領を支配)

(江戸の行政・司法)

(下級役人) ・ _____ (与力の支配下)

(江戸を離れた幕府直轄地の民政)

(_____ () ・ _____ ())
(奉 行 (_____ () ・ _____ ()))

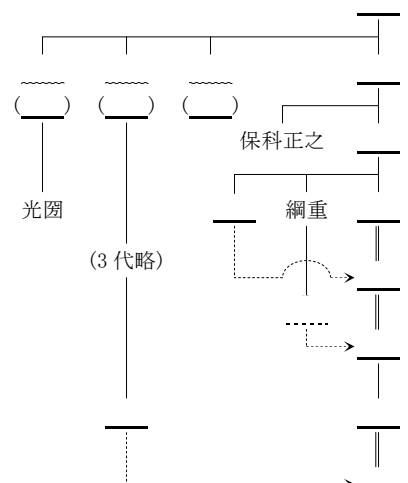
(_____ ())

(大名の監察)

(旗本・御家人の監察)

将
軍

図解NOTE [将軍家系図]



[職制の特色(職制は _____ の項に整う)]

- ① _____ 制 (要職には複数名を任命し合議)
 ② _____ 制 (複数の担当者が1ヵ月交代で勤務)
 ③ _____ (幕府の最高司法機関)
 _____ (_____) などで構成され、重大事件や管轄のまたがる事項を合議

大名	石高	配置	要職
親藩	多	要地	×
譜代	少	要地	○
外様	多	遠方	×

★幕末になると、親藩・御三家の幕政参加もみられるようになる

農 民 統 制	宗 教 統 制
1641 年～ _____ (干ばつ・冷害・大風雨などによる全国的凶作) _____ 年 _____ (→明治時代の _____ 年に廃止) 本田畑での商品作物 (_____ ・ _____ ・ _____ など) の栽培を禁止 _____ 年 _____ (→明治時代の _____ 年に廃止) 豪農への土地集中と本百姓の没落防止のために田畑の売買を禁止 _____ 年 _____ (農民の日常生活のあり方など 32 か条の心得) 法令遵守・耕作奨励・衣食住の制限など生活細部まで厳しく規制 ★現在は 1649 年の発布や存在自体が疑問視されている 図解 NOTE [貨幣経済の浸透(江戸中期)] ① 農業生産力の向上 (耕地面積の拡大・農業技術の発達が背景) → 商品作物を栽培 (市場などで商品作物を売って貨幣を獲得) ② 農村への貨幣経済(商品経済)の浸透 → 本百姓体制の動揺 (本百姓が豪農・貧農に階層分化) ③ 貧農は田畑を質入れして豪農から借金 → 質入れた田畑 (_____) をとられる = _____ ④ 貧農が本百姓から小作人に転落 or 都市に流入	— [禁教政策 (島原の乱を契機にキリスト教弾圧を強化)] — ① _____ (キリストやマリアが描かれた _____ を踏ませる) ② _____ (幕府の宗門改役が行った禁教目的の信仰調査) → _____ (_____) を作成 (戸籍の役制となる) 家族ごとに名・年齢・宗旨 (所属宗派)・檀那寺などを記載 ③ _____ (一般民衆を寺院の檀家になることを強制させる制度) ★キリスト教・日蓮宗 _____ を信仰させないことが目的 → _____ (宗旨手形) を檀那寺が発行 _____ が自分の _____ であることを証明するため発行する文書 (1601 年～ _____ (_____)) 真言宗・天台宗など各宗派の大寺院ごとに出版された 寺院・僧侶を統制するための法令の総称(1601～1616) → _____ (中心寺院)・ _____ (一般寺院) の関係を制度化 — [寺社(寺院・神社)の統制] — ① _____ (寺社を監察する→ _____ の死後に制度化) ② 寺社伝奏 (寺社からの申し立てを武家伝奏に取り次ぐ) ③ 寺 社 領 (寺社領は税免除) = 40 万石 ④ _____ (寺院法度によって一宗派一山と定められる) 宗派ごとの _____ ・ _____ の関係による寺院の寺格制度 ⑤ _____ (明の僧) が _____ を伝える (_____ 年) _____ 寺 (宇治の黄檗宗本山)・ _____ 寺 (長崎の黄檗宗寺院)
_____ 年 _____ (分割相続による土地の細分化を防止するため) 名主は _____ 石・一般百姓は _____ 石以上の石高を所持していれば 分地 (土地の分割) を認めるが、それ以下の農民の分地は禁止 (_____ 年 _____ 改正) (徳川家継 [7 代将軍] 時に改正) 分地高・残高ともに石高 _____ 石・地面 _____ 町以上の所持を必要とする → 石高 _____ 石・地面 _____ 町以上を所持していなければ分地できない ★分地高 (分け与える土地)・残高 (分け与えた後に残る土地)	_____ 年 _____ (各宗派共通の寺院を統制するための法令) 1665 年 _____ (神社・神職を統制するための法令) _____ 家 (吉田神道) が神道の本所として統制 (_____ 家は衰退)

[NOTE]

< 宗教(仏教・神道・キリスト教) >

① 仏教(外国伝来の世界宗教)……… 仏(釈迦如来・大日如来・阿弥陀如来など)を信仰し、祀るため寺院を建立

② 神道(日本古来の民族宗教)……… 日本固有の神々(天照大神・大国主神など)を信仰し、祀るため神社を建立

③ キリスト教・ _____ …… 幕府権力よりも宗教を優越するため弾圧

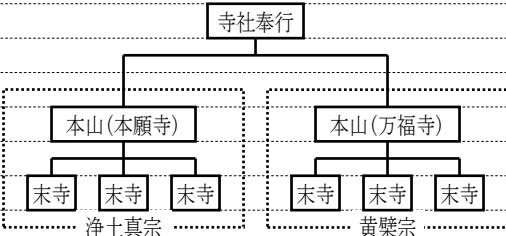
→ (1) キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略を招く恐れがある、(2) 信徒が信仰のために団結する恐れがある

< 本末制度 >

① 寺院法度(1601～16)… 真言宗など宗派ごとに個別に発布

→ 本山・末寺の関係を制度化

② 諸宗寺院法度(1665)… 宗派関係なしに全宗派一括で発布



< 宗門改・寺請制度 >

① 島原の乱(1637～38)を契機に、キリスト教徒の摘発のため、

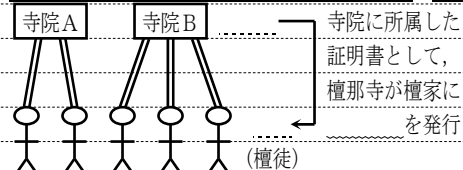
住民の宗旨(信仰する宗派)を宗門改役が定期的に調査 = _____

→ 家族ごとに名前・年齢・性別・住所・宗旨(信仰する宗派)

などを _____ (_____) に記録して把握

② キリスト教・日蓮宗不受不施派を信仰させないため、

民衆をいずれかの寺院に所属させることを強制 = _____



【B】身分制度(士農工商)

士	武士＝将軍・大名（一万石以上の将軍直属の武家）・直参（一万石未満の将軍直属の旗本・御家人）・_____（大名・旗本などの家臣） → _____・ _____（農工商の者でも苗字・帯刀が特別に認められる場合がある）・ _____（農民・町人から非礼を受けた場合は斬殺しても無罪）の特権																					
農	農民（検地による _____を通して支配単位としての村の範囲を確定→幕領では _____・ _____，藩では郡奉行が支配） ★全国の村の数＝ _____ 余り → 村法（村掟）（入会地・用水の管理など村ごとに定められた法）・ _____（村人から徴収された村を運営するための費用） 「 _____（村政にあたる村役人）」 _____（村政全般を統轄） ★関西では _____・東北では _____ と呼ぶ _____（名主の補佐役） _____（村民の代表で名主・組頭を監視） 「 _____（田畑を持つ）」 検地帳に田畑・屋敷地を登録される高持百姓 → 租税負担義務を持ち、村政に参加できる ★有力本百姓の隷属農民＝ _____・ _____ など 「 _____（田畑を持たない）」 村政に参加できず、田畑を持たない無高百姓 → 他人の田畑の小作や日雇仕事で生活する 「本百姓の負担（物納が原則だが貨幣納も可能）」 ① _____（田畑・屋敷地にかかる本年貢） ★米穀や貨幣で領主に納めるのが標準 ② _____（山野・河海や副業の収益にかかる雑税） ③ _____（村高（村の石高の総計）に応じてかかる付加税） ★高掛三役（伝馬宿入用・六尺給米・蔵前入用） ④ _____（土木工事など一国単位で臨時にかかる夫役） ⑤ _____（宿駅に公用交通用の人馬を提供する夫役） ⑥ _____（伝馬役の不足の際に人馬を補充する夫役） ★ _____ と呼ばれる街道周辺の指定された村のみにかかる <table><tr><td></td><td>税 率</td><td>徴 税 法</td></tr><tr><td>初 期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）</td></tr><tr><td>享保期</td><td>公 民</td><td>_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）</td></tr><tr><td>① _____</td><td></td><td>（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）</td></tr><tr><td>② _____</td><td></td><td>（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）</td></tr><tr><td>③ _____・ _____</td><td></td><td>（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）</td></tr><tr><td>④ _____</td><td></td><td>（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）</td></tr></table>		税 率	徴 税 法	初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）	享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）	① _____		（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）	② _____		（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）	③ _____・ _____		（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）	④ _____		（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）
	税 率	徴 税 法																				
初 期	公 民	_____（豊作・凶作に応じて税率を決定）																				
享保期	公 民	_____（豊作・凶作に関わらず税率は一定）																				
① _____		（名主を納入責任者として村全体で年貢を納入）																				
② _____		（年貢納入と犯罪防止・キリシタン防止に連帯責任を負わせる）																				
③ _____・ _____		（田植や稲刈などの相互扶助の共同労働・共同利益配分）																				
④ _____		（村掟に違反した者への制裁として葬式と火災以外は交際断絶）																				
工・商（町人）	_____（都市に住む商工業者の共同体的な自治組織として _____を形成→ _____が支配） ★城下町では武家地・寺社地・町人地にそれぞれ分けられる → _____（ _____）（城下町などの町ごとに独自に定められた法）・ _____（町人から徴収された町を運営するための費用） 「町役人（町政を担当する役人）」 _____（町政全般を統轄） _____（町年寄の下にいる役人） _____（月交代で町名主・町年寄を補佐） 「本町人（土地・家屋を持つ町人）」 _____（土地を持ち、町政に参加できる） _____（家屋を持ち、町政に参加できる） 「町人（土地・家屋を持たない町人）」 _____（土地を借りて自ら家屋を建てる） _____（家屋ごと借りる→店賃を払う） ↓ ① _____（ _____）（一日単位で雇われる） ② _____（天秤棒で商品を担いで売る） ③ 奉公人（主人の家に住込みで従事する） ★商家奉公人… _____ → _____ と昇進 徒弟奉公人… _____（親方の弟子となる） 「本町人の負担（上下水道の整備・城郭や堀の清掃などの町人夫役も課せられる）」 ① _____・ _____（営業許可時に上納する献金・営業に対して一定の税率で上納する営業税） ② _____（幕府・諸藩が財政不足を補うため、御用商人らに課した臨時・不定期の賦課金） ③ _____（屋敷の面積に応じてかかる宅地税→三都など城下町では地子銭免除が多い）																					
賤民	_____（皮革・農業・行刑役・死牛馬の処理などに従事→中世からの隷属民で西日本では皮多、東日本では長吏ともいう） _____（物乞い・遊芸・清掃・番人などに従事→乞食・犯罪・心中未遂などの転落者で旧身分に復帰する足洗いができる）																					

【NOTE】

【婚姻・離婚形態】

①家父長制（女性に相続権はなく、男性の戸主権が強い→男尊女卑の家族制度）

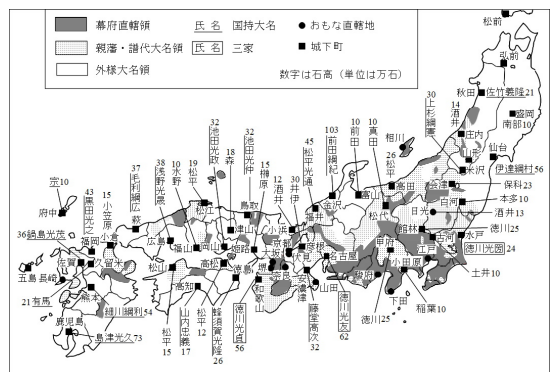
ex. _____『_____』（女性に「_____」が美德と説く）

★幼いときは父に、嫁いでは夫に、夫が死んだ後は子に従えという教え

②_____（_____・離縁別状）（夫が妻に交付する文書→再婚許可の確認にもなる）

③_____（_____・驅入寺）ex. _____（鎌倉）・_____（上野世良田）

離縁状を渡さない夫に対して、女性が3年間尼として在寺すると離婚の権利を与える寺



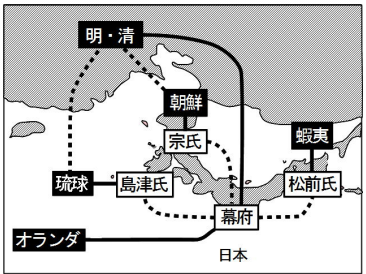
鎖 国 政 策		禁 教 政 策 ・ 貿 易
(1600～1605)	年 号 (船) が 国 臼杵に漂着 オランダ人の (日本名 =) イギリス人の (日本名 =) ★のち、2名は の外交顧問となる	年 (1631年に中国、1641年にオランダにも適用) 商人による白米(中国産)の利益独占を抑制するため、 幕府の直轄都市の有力商人に (同業者組合) を組織させ、 国内市価の安定のために で生糸を一括購入して、仲間全員に分配 ★糸割符仲間 = . . (→のち . =)
	年 オランダが にオランダ商館設立 オランダ 会社 (根拠地 =) が設立 年 イギリスが にイギリス商館設立 イギリス東インド会社 (根拠地 = カルカットなど) が設立 年 外国船 (中国船を除く) の来航を . に限定 年 が平戸の商館を閉鎖 (= イギリス退去) 事件 (オランダとの貿易競争) に敗れたため撤退 [イスパニアとの交渉] 1609年 [前ルソン総督] が上総に漂着 ↓ 1610年 (京都の商人) の貿易要請 が (イスパニア領) に派遣 →翌年帰国するが交渉失敗 (答礼使 が来日) 1613年 [仙台藩士] の貿易要請 () が [仙台藩士] がイスパニアに派遣→交渉失敗	年 (キリスト教の信仰を禁じる) 天領 (直轄領) 内で実施→翌年の 年には全国的に実施 1614年 キリシタン国外追放 (300名ほど) 改宗を拒否した (キリシタン大名) を に追放 1622年 (長崎で55名の宣教師・信徒を処刑)
秀忠 (1605～1623)		[日本人の海外進出 (秀吉政権時から活発化)] ① (朱印船による南方貿易) (将軍が発行する海外渡航許可状) をもつ が渡航 →主に日明の両国商人が東南アジアなどに出向く を行う ex. (現在のフィリピン) ・ (現在のタイ) (現在のヴェトナム) ・ カンボジア ・ マカオ ②朱印船貿易家 ★商人以外にも九州の大名も参加 ・ (京都) (摂津) ・ (長崎) ③朱印船貿易の輸出入品 輸出品 = . ・ 鉄 ★銀の輸出額 = 世界の産出額の 3分の1 輸入品 = . ・ 綿織物・砂糖・鹿皮・鮫皮 ④ (東南アジア各地に形成された自治制の日本人居住地) ex. (タイ) ・ ・ ピニャルー (カンボジア) (フィリピン) ・ (ヴェトナム) ★ (シャム(タイ)の首都 日本町の長) →シャム王朝に仕え、のち 太守に就任
	年 船の来航を禁止 1631年 制度開始 海外渡航には、朱印状に加え の発行する も必要とする ★糸割符制度を中国(明→のち清)にも適用(1631) 年 鎖国令① (以外の日本船の海外渡航を禁止) 年 鎖国令③ (日本人の海外渡航・海外在住の日本人の帰国を禁止) 年 鎖国令④ (人の子孫を追放) 年 () を首領に 跡に竜った農民一揆 氏 [島原城主] ・ 氏 [天草城主] の反政が原因 島原・天草は元々キリシタン大名の の領地 → [老中] 鎮圧 (←鎮圧にあたった が戦死) 年 鎖国令⑤ (船 (かれうた) の来航を禁止) 年 オランダ商館を平戸から長崎の に移す オランダ商館長 () は毎年江戸に参府し将軍に拝謁 → (幕府に提出する海外事情報告書) を提出 ★糸割符制度をオランダにも適用(1641) 長崎出島オランダ商館の 人医師 は帰国後に『 』を著した。後にその一部を長崎通詞の が和訳し『 』と題した。	
(1623～1651)		

[B] 長崎貿易

鎖 国 政 策		貿 易 相 手 国
家 綱	<u> </u> 年 <u> </u> 廃止 → 相対自由貿易 (売手と買手による当事者間の直接売買)	— [長崎貿易 (長崎奉行の監視の下、貿易は幕府が独占)] — ① オランダ (1581 年にイスパニアから独立) ② 明 (漢民族の王朝) → 清 (満州民族の王朝) 輸出品 = <u> </u> ・ <u> </u> ・ 海産物 (<u> </u>) 輸入品 = <u> </u> ・ <u> </u> ・ 書籍 (中国産) 綿織物 ・ 毛織物 (ヨーロッパ産) 砂糖 ・ 蘇木 ・ 香木 ・ 皮類 (南洋産)  [長崎の出島]
綱 吉	<u> </u> 年 <u> </u> 復活 → <u> </u> (長崎貿易の取引額に限度額を設定) 年間貿易額を制限 (清船 = <u> </u> 貫目 ・ オランダ船 = <u> </u> 貫目) <u> </u> 年 清船の来航を年間 <u> </u> 隻に制限 → <u> </u> (長崎に設けられた中国人の居住地) を設置	
(家宣) ↓ 家継	<u> </u> 年 <u> </u> (長崎新令 (例) ・ 正徳新令 (例)) 金銀の流出を抑えるため、隻数 ・ 貿易額を制限 → 清 船 = 年間 <u> </u> 隻 ・ 高 <u> </u> 貫目 オランダ 船 = 年間 <u> </u> 隻 ・ 高 <u> </u> 貫目 → 以降は <u> </u> (<u> </u> ・ <u> </u> ・ <u> </u>) の輸出を奨励	

朝 鮮 国交は回復したが 幕府との直接貿易には至らず → 貿易は対馬の宗氏が行う	<u> </u> 年 <u> </u> (国書への返答と朝鮮人捕虜の返還を目的に来日) → <u> </u> (捕虜の返還が終了した <u> </u> 回月以降の名称) ★ 將軍の代替わりごとに <u> </u> 回来日 (1811 年の対馬での家斉祝賀が最後) <u> </u> 年 <u> </u> (<u> </u> 条約) (対馬の <u> </u> 氏と朝鮮の間に結ばれる) <u> </u> に <u> </u> を設置し、対馬からの <u> </u> を年間 <u> </u> 隻に限定 ★ <u> </u> (対馬藩に仕え、朝鮮との外交を担当)
琉 球 薩摩藩と清の二重支配	<u> </u> 年 <u> </u> [薩摩藩主] が琉球征服 (琉球国王 = <u> </u>) 以後、琉球は <u> </u> (將軍の代替わり) ・ <u> </u> (国王の代替わり) を派遣
蝦夷地 <u> </u> 氏 (もと <u> </u> 氏) と 蝦夷地のアイヌとの交易	1604 年 <u> </u> 氏に黒印状を与える (家康が松前氏にアイヌ交易の独占権を保証) → <u> </u> (商場におけるアイヌとの交易権を家臣に知行として与える) 1669 年 <u> </u> の戦い、(商場知行制による不正交易にアイヌが反発 → 津軽藩の協力を得て鎮圧) → <u> </u> (商場におけるアイヌとの交易を和商人に請け負わせ、運上金を納めさせる) 1789 年 <u> </u> ・ <u> </u> の蜂起 (場所請負制による和商人の酷使にアイヌが蜂起 → 松前藩が鎮圧)

	国名	国 交	貿 易	4 つの口
通商国	オランダ	× (公式使節はなし)	○ (幕府が貿易)	<u> </u> 口
	清	× (公式使節はなし)	○ (幕府が貿易)	<u> </u> 口
通信国	朝鮮	○ (朝鮮通信使が来日)	× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口
	琉球	○ (慶賀使 ・ 謝恩使が来日)	× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口
	アイヌ		× (<u> </u> 藩が貿易)	<u> </u> 口



[NOTE]

重 要 事 項		政 治 政 策	
〔老中〕・〔藩主〕	1651 年 _____ が 4 代将軍に就任 (← _____ 死去) ↓ [社会問題] ① _____ (主家を失った武士) の増加 (約 50 万人) ② _____ (異様な振舞いや風体をした無頼の徒) ↓ _____ 年 _____ (_____) _____ (兵学者) ・ _____ (槍の達人) らが幕府転覆を計画 1652 年 _____ (_____ らが老中襲撃を計画)	_____ [_____ (儒教的徳治主義による政治)] _____ ① _____ の緩和 (1651) 従来は死ぬ直前 (末期) に養子をとることを禁止していたが、 _____ 歳以上 _____ 歳未満の大名には末期養子をとることを認めた ② _____ の禁止 (主君の死の後を追う家臣らの自殺を禁止) ③ _____ の廃止 (大名の重臣の子弟の人質を廃止)	
	1657 年 _____ (「振袖火事」と呼ばれる) 江戸の約 6 割が焼失→莫大な江戸再建費用がかかる ★犠牲者の供養のため _____ を設立 ★儀礼の重視 ex. _____ の再興(1687) ・ _____ の再興(1694) → _____ (1702 年に _____ の旧臣が _____ の _____ を襲撃)	_____ [諸藩の文治政治 (諸藩も儒学を奨励)] _____ _____ [会津藩主] = _____ (朱子学者) _____ [加賀藩主] = _____ (朱子学者) _____ [水戸藩主] = _____ (明の儒者) 江戸藩邸に設立した _____ で『 _____ 』の編纂を開始 _____ [岡山藩主] = _____ (陽明学者) _____ (藩学) = _____ ・ _____ (郷学) = _____ を設立	
〔老中〕	_____ [幕府の財政窮乏] ① _____ (1657) の復興費 ② 金銀産出量の減少 ③ 寺社造営費の増大 (④ _____ 大噴火 (1707)) ↓ _____ 年 _____ (_____ 小判を改鑄して _____ 小判を発行) 建議 = _____ { _____ → のち _____ } 小判の金含有量を減らし、差額利益 (_____) を収入とする → 幕府の財政は補われたが貨幣の価値が下落したため物価高騰	_____ [天和の治 (綱吉の治世)] _____ ① 武家諸法度 (_____ 令) 「 _____ の道」→ 「文武 _____ を励し、 _____ を正すべき事」 ② _____ (孔子廟=孔子を祀る建物) を建立 ↓ ★ _____ が上野忍ヶ岡の _____ 内に設けた聖堂を _____ に移築 → _____ (_____ の初代 _____ に任じられる) ③ 造営 = _____ (母 _____ の願い) ・ _____ (のち焼失) ④ 改築 = _____ (上野・天台宗) ・ _____ (芝・浄土宗) ⑤ _____ (親族が死んだ際の服喪や忌引をする日数を定める) ⑥ _____ (極端な動物愛護令) ★犬公方 = _____ ⑦ 歌学方 = _____ (注釈書『 _____ 』を著す) ⑧ 天文方 = _____ (_____) ★従来の _____ に代わり、元の _____ を参考に _____ を作成	
〔側用人〕	1710 年 _____ (_____ 小判を発行) by _____ ★宝永小判は _____ (裏面に「乾」の極印がある) ともいう ↓ 1714 年 _____ (_____ 小判を発行) by _____ _____ 年 _____ (金銀の流出抑制のため、長崎貿易を制限) → 清 船 = 年間 _____ 隻 ・ 高 _____ 貫目 銀の流出抑制のため わが 船 = 年間 _____ 隻 ・ 高 _____ 貫目 一部は _____ で支払う ★以降は、 _____ (_____ ・ _____) の輸出を奨励	_____ [_____ (家宣・家継の治世)] _____ ① 生類憐みの令廃止 ② _____ (_____ ・ _____ ・ _____ (_____) に加えて創設) ③ _____ の待遇簡素化 將軍の権威を示すため、朝鮮国書に記す將軍の称号を 「 _____ 殿下」→ 「 _____ 」に改めさせる ④ 新井白石の著書 『 _____ 』『 _____ 』『 _____ 』 『 _____ 』『 _____ 』『 _____ 』『 _____ 』	

[勸農政策の推進 (.....(1641~1642)が契機)]

①用水路の開削

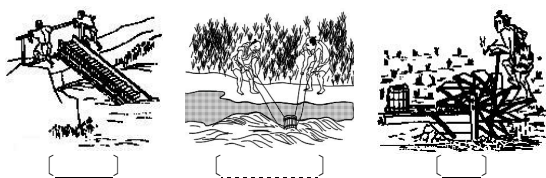
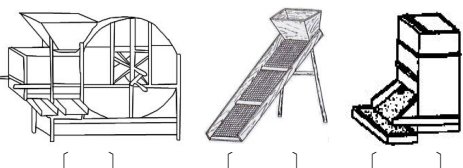
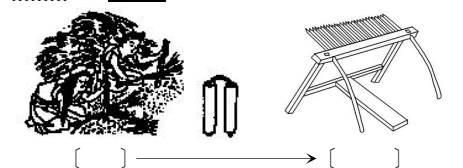
.....(芦ノ湖から富士山麓の深良村へ引いた用水路)
(利根川から引いた用水路→勘定方の.....が完成)
(1654)・.....(1590or1653) (江戸に引いた飲料用上水)

②新田開発 ★.....(新田開発をした場合、一定期間年貢を減免)

.....(代官が開発可能な土地を見出し、その主導で開発した新田)
(有力な商人が幕府や藩から請け負い、自らの資本で開発した新田)
新田(越後国)・.....新田(河内国)・.....新田(摂津国)

③耕地面積の拡大

約.....万町歩(江戸時代初期)→約.....万町歩(18世紀初期)



[手工業]

製紙.....紙・.....紙(越前)
紙(播磨)・.....紙(美濃)
 漆器.....塗(能登)・.....塗(能代・飛騨)
塗(会津)・.....塗(盛岡)
 陶磁器.....焼(肥前)→.....焼(加賀)
焼(山城) ★京焼は.....が創始
 麻織物.....・.....・.....
 綿織物.....(尾張)・.....・.....
 ★綿織物の機織具=.....(.....)
 絹織物.....(山城)→.....(上野)・.....(下野)
 ★絹織物の機織具=.....
 清酒.....・.....(摂津)→.....(摂津)
 醬油.....(播磨)→.....・.....(下総)

[農業技術の改良]

	江戸初期	江戸中期～後期
耕作具	→.....	
脱穀具	→.....	(短い竿の部分回転させて打つ)
選別具	→.....	(風力を利用して玄米と粃殻などを選別)(金網の上に流して、穀粒の大小を選別)
揚水具	→.....	(足で踏んで水を汲み上げる小型水車)
商品作物	四木三草(民間必需の商品作物) 四木=.....(紙の原料)(葉は蚕の食用)(特産地=会津)(特産地=駿河・山城宇治) 三草=.....(特産地=出羽)(特産地=阿波) その他=.....(備後)・.....(河内・三河・尾張)(薩摩)・.....(摂津・河内・近江)	
肥料	(購入肥料)(菜種や綿実などから油を搾った粕)(鰯や鯨を干しにしたもの)(鰯や鯨などから油を搾り取った残り粕)	
農書	土居清良『.....』(日本最古の農書) (元禄期).....『.....』(日本最初の体系的農書) (享保期).....『.....』(吉宗に献上した意見書) (文政期).....『.....』(農具の図とその用法を紹介) (安政期).....『.....』(商品作物の栽培を奨励) (天保期).....『.....』(農政の心得を述べる) 『.....』(佐瀬与次右衛門) 『.....』(土屋又三郎) 『.....』(作者未詳) 『.....』(.....)	
農政家(幕末)	(相模・下野国などで荒廃した農村の復興を指導) ★.....(勤労・節約を説く事業法)に基づき、各地に.....結成(下総国香取郡長部村で指導→のち幕府の嫌疑を受け自殺)	



[生産形態の変化]

17世紀.....
 ↓ 農業の合間の副業として生産を行なう
 18世紀.....
 ↓ 問屋が資金や原料を前貸しし、生産品を買取る
 19世紀.....(.....)
 労働者を工場に集め、.....により生産を行う
 ★.....(農村内にいる商人)の成長
 [マニファクチュアによる特産品生産地帯]
 酒造業(.....・.....・.....)→酒造業では17世紀から始まる
 綿織物(.....周辺・.....)・絹織物(.....・.....・.....)

諸
産
業

漁業	_____の普及（地曳網や船曳網など各種の網を用いた漁法） → _____（上総）の _____ による <u>鰯</u> 漁 ★ _____（網漁業経営者）・ _____（零細漁民） → _____（蝦夷地）の <u>鯨</u> ・ <u>昆布</u> 漁 _____ _____（ _____や <u>鯨</u> を日干しにしたもの） _____（ <u>鰯</u> や <u>鯨</u> などから油を搾りとった残り粕）	
製塩業	中世＝ _____（浜辺で海水を人力で汲みあげて、砂地にまいて水分を蒸発させる） 近世＝ _____（潮の干満の差を利用して、海水を砂地に導入し水分を蒸発させる） → _____＝ <u>瀬戸内地方</u> 中心（赤穂）	
林業	_____ <u>檜</u> _____ <u>杉</u> ・ _____ <u>杉</u>	
鉱山業	幕府直営	<u>金山</u> ＝ _____（新潟県）・ _____（静岡県）・ _____（山梨県） <u>銀山</u> ＝ _____（兵庫県）・ _____（島根県） <u>銅山</u> ＝ _____（栃木県）
	藩・民間経営	<u>秋田藩</u> ＝ <u>出羽</u> <u>銀山</u> ・ <u>出羽</u> <u>銅山</u> <u>住友家</u> ＝ _____ <u>銅山</u> <u>南部藩</u> ＝ <u>陸奥</u> _____（日本最初の鉱山） ★ 地方では砂鉄を原料とする「 _____ 」が行われた→ _____（日本刀の原料）を製造

陸上交通

五街道(起点=江戸) ★支配=

★ (五街道以外の補助的な街道) ex. 北国街道・中国街道

五街道	宿駅	問屋場	関所
道	宿	人 疋	関・関
道	宿	人 疋	関・関
道中	44 宿	人 疋	関
道中	21 宿	人 疋	関
道中	27 宿	人 疋	関

图解NOTE [宿駅]

〔街道〕

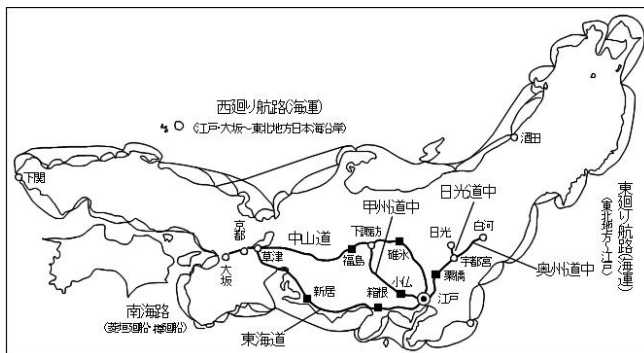
- ① _____ (4kmごとに目印として塚を築き榎や松を植える)
- ② _____ (_____) (2~3里ごとに設置された集落)
- _____ (公営の人足と伝馬の継立てを行う施設)
- 人馬は _____ (問屋場に人馬を提供する農民の夫役) で徴発
→不足の際は _____ (宿駅周辺の村のみにかかる夫役) で補充
- _____ (幕府の文書や荷物を運ぶ公用の飛脚)
- ★ _____ (大名が設置→藩邸と国元の通信にあたる)
_____ (民間が経営→三都の商人が事業を開始)
- _____ ・ _____ (大名らの宿泊施設)
- _____ (庶民の宿泊施設) ・ _____ (安価な自炊宿)
- ③ 関所 (治安維持を目的に各所に設置)
- 「 _____ 」を監視 (→通行時には _____ が必要)
- ④ 渡し (河川において歩行や渡船で人馬や荷物を渡す)
- 川 (川越人足の徒渡) ・ 川 ・ 川 (水主人足の船渡)

水上交通

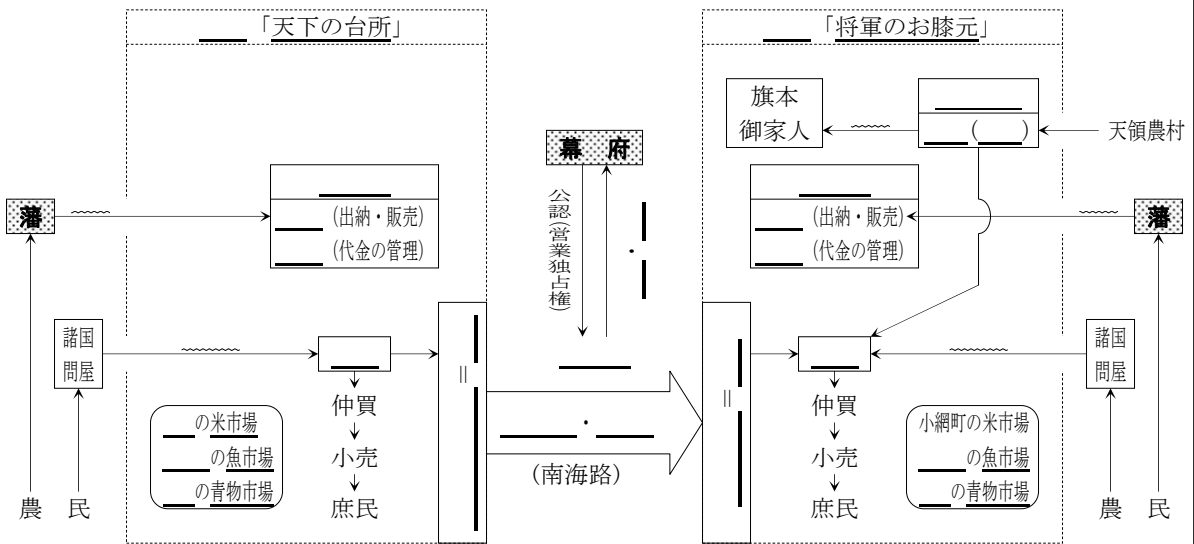
- ① _____ (大坂～江戸)
→ _____ ・ _____ が就航
★18世紀以降は小型で船足が早い樽廻船が圧倒
②東廻り航路(海運) (東北日本海沿岸～津軽海峡～江戸)
③西廻り航路(海運) (東北日本海沿岸～下関～大坂)
→西廻り航路は _____ が就航

[海運・河川(水路)の整備]

- ① _____ (淀川治水のため _____ 川を開削)
東廻り航路(海運) (1671)・西廻り航路(海運) (1672)を整備
- ② _____ (淀川に通じる _____ 川を開削→ _____ が運送)
川・ _____ 川・ _____ 川(_____ 川)・ _____ 川を改修



商品流通の仕組み



[補足説明]

- ① _____ (諸藩の蔵屋敷に集められた年貢米・特産物の総称)
- ② _____ (諸藩が設けた倉庫兼取引所/大坂 _____ に多い)
- ③ _____ (蔵屋敷で蔵物の出納・売却にあたる商人)
- ④ _____ (蔵屋敷で売却代金の保管・藩への送金にあたる商人)
- ⑤ _____ (蔵物に対し、生産者から直接に商人の手で流通した商品)
- ⑥ _____ (生産者・荷主と仲買・小売商人の取引を仲介する商人)
- ⑦ _____ (旗本・御家人の代理として蔵米の受取・売却にあたる商人)
- ⑧ _____ (_____ にあつた御蔵に納められる年貢米)

[株仲間の変遷]

商工業者が営業権の独占をはかるため結成した同業者組合のことを _____ (商工業者の同業組合) という。当初幕府は仲間を結成することを認めていなかったが、18世紀以降になると、物価調節や商工業統制のため、 _____ という営業税を納めることを条件に仲間を公認するようになった。この幕府から認められた営業の独占権を _____ と呼び、その公認された仲間を _____ という。

江戸初期=禁止
元禄期=黙認
享保期=公認
田沼時代=奨励
天保期=解散
嘉永期=再興
明治期=解体

貨幣・金融

① 三貨 (_____ の貨幣鑄造権を幕府が独占)

三貨	貨幣単位	鑄造所	鑄造貨幣
_____ (_____ 貨幣)	_____ (1両=4分=16朱の _____ 進法)	_____ in _____ (管轄= _____)	大判・小判
_____ (_____ 貨幣)	_____ (1貫=1000 匁)	_____ in _____ (管轄= _____)	_____ (_____ 年)
_____ (計数貨幣)	_____ (1貫=1000 文)	_____ in 江戸芝など (民間請負)	_____ (_____ 年)

★三貨の交換比率 1609年=金1両=銀 _____ 匁=銭 _____ 貫
→ _____ 年=金1両=銀 _____ 匁

江戸= _____ 遣い (金での取引が主流)
大坂= _____ 遣い (銀での取引が主流)

[_____ (金銀銭三貨の交換)]

_____ (両替のみ)
_____ (両替・為替・貸付業務など)
江戸= _____
大坂= _____
→ _____ (両替仲間に支配)

② _____ (藩が発行した領内のみ通用する紙幣)
→ _____ (_____)藩が最初に発行(1661)

豪商

豪商 (元禄期に三都の繁栄を背景に出現した豪商) in 江戸

- ① _____ 家 (伊勢松坂出身の呉服商→両替商)
→ _____ (江戸に開いた呉服店)
「現金かけ値なし」と切売り商法で繁盛
→ 『 _____ 』
- ② _____ (紀伊国熊野出身でみかんで成功→材木商)
- ③ _____ (初代が日光東照宮修理で富を得た材木商)

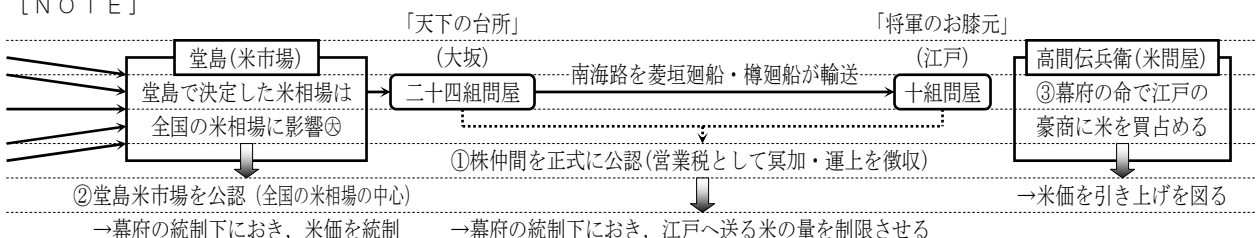
in 大坂

- ④ _____ 家 (摂津伊丹出身の酒造業→両替商)
善右衛門 (3代目) で発展
★新田開発= _____
- ⑤ _____ 家 (_____) (_____ 国 銅山の経営)
★ _____ (銀と銅を分離する)を導入
- ⑥ _____ (大坂の蔵元)
★贅沢を理由に幕府に全財産没収



増収政策	〔享保の改革の特徴〕 _____〔<u>藩主</u>→8代将軍〕★「<u>米将軍</u>」と呼ばれる ①復古的理想主義「諸事権現様（_____）の御定め」の通り ②武家諸法度（_____時の「_____」を踏襲） ③将軍による専制政治（→_____による側近政治を廃止） 〔機構整備〕 ①_____老中（財政専門の老中）＝_____ ②勘定奉行（幕領の財政と訴訟を担当する職）の分離 →_____（幕領の財政担当）・_____（訴訟担当） ★_____（_____の下で年貢増徴策を推進した勘定奉行） ★侍講＝_____『_____』（民衆教化書→寺子屋の手習い本などの庶民教育に用いられる）※寺子屋では『実語教』・『童子教』・ cf. _____『_____』（吉宗の諮問に答えた幕政改革案→貨幣経済の浸透抑制と武士の土着を説く）『_____』などを教科書として使用	
	政治（財政再建）	経済・社会政策
	①_____（の制）（_____年～_____年） 各大名に、石高1万石につき_____石の米を献上させる →代償として_____の江戸在住を1年から_____に軽減する ★のち、幕府の財政が安定したため廃止（参勤交代も旧に戻した） ②新田開発の奨励（_____に新田開発の高札を立てて呼びかける） →_____＝_____（_____国） ③年貢増徴策（→1744年に幕府史上最大の年貢取納率38%に上昇） 税率＝<u>公</u>民→<u>公</u>民 徴税法＝_____→_____ （豊凶に応じて税率を決定）（豊凶に関らず税率は一定） ④商品作物の奨励（_____・_____・_____・_____などの栽培を奨励） ↓ _____＝『_____』・『_____』 ⑤_____（日常生活に役立つ学問）の奨励 _____（中国語に翻訳された洋書）の輸入制限の緩和 →_____・_____に<u>オランダ語</u>の学習を命じる	①_____（商工業者の同業組合）を公認（1721） ↓ 物価調節・商業統制を目的に株仲間を結成させる →幕府の統制下におき、江戸への廻米の量を制限する ②<u>大坂</u>の米市場を公認（1730） ↓ 全国の米相場場の中心である堂島を公認し、米価を統制する →_____に米を買占めさせ、米価を引き上げ but! _____（←_____年に_____・_____が大発生） →_____の打ちこわし（_____の米問屋が襲撃される） ③_____の貨幣改鑄（1736） ↓ 米価低迷が続いたため、悪銭を発行して米価引き上げをはかる →<u>小判</u>（良銭）を改鑄し<u>小判</u>（悪銭）を発行 ④_____（1722） ↓ 質流し（質流れ）による田畑が売買されるのを禁止し、すでに質流れされた土地も元金を返済すれば取り戻すことができる →_____（_____・_____）が起きたため、翌年撤回 ⑤_____（_____年～_____年） _____（金銭貸借に関する訴訟）は受け付けず、当事者間で解決させる→but のち、武士の踏み倒しが多発したため廃止 ②_____を制定（1742） ↓ 裁判や刑罰の基準を定めた基本法典 →上巻と下巻に分かれる（下巻は『_____』ともいう） ③_____を編纂（1744） ↓ 幕府開設以来の単行法令を集めた法令集 ④_____（町奉行監督下の「いろは47組」に編成した消防組織） ↓ 従来の_____（幕府）・大名火消（大名）に加えて設置 ⑤_____（_____前に設置した投書箱で、将軍自ら箱を開ける） ↓ 小石川薬園内に_____（無料診療所）を設置

[NOTE]



[田沼政治の特徴]	
_____ [徳川家重(9代将軍)の小姓→_____→_____]	
① <u>重商主義</u> (貨幣(商品)経済を助長→商業資本を利用して財政再建)	
② <u>賄賂政治の横行</u> (→不評を買う)	

経 済 政 策	政 治 ・ 外 交
①新田開発 (商人の資本を導入) _____・_____ (_____ 国) の干拓 (→利根川の大洪水で失敗)	①長崎貿易(蘭・清との貿易)で日本から多くの金・銀が流出 ↓※江戸初期から金の <u>4分の_____</u> , 銀の <u>4分の_____</u> が海外に流出
② _____ (商工業者の同業組合) の <u>奨励(積極的公認)</u> → _____・_____ (商工業者の上納金) の徴収	②長崎貿易の貿易額を制限して, 金・銀の流出を抑制しよう ↓→ _____ (_____・_____) (_____ 年) by _____
③特定商品の _____ (幕府直営の _____ を設置し, 特定商人に組織させる) _____ 座・ _____ 座・ _____ 座・ _____ 座を設置	③田沼意次は長崎貿易の政策を <u>拡大(規制緩和)</u> へ転換 →流出した金・銀を輸入するため, _____・_____ の輸出を伸ばす
④金銀通貨の一本化 (金貨の単位の計数貨幣への一本化を企図) → _____ _____ (最初の計数貨幣銀貨) _____ (金貨の単位を持つ最初の計数貨幣銀貨)	①長崎貿易の <u>拡大(規制緩和)</u> (金・銀の原料を確保するため) ↓ 輸入 = _____・_____ 輸出 = _____・_____ ② _____ の開発 → _____ らを蝦夷地(千島列島)に派遣 ★ _____ (仙台藩医) が田沼意次へ献上した『 _____ 』が背景 →ロシアの南下に対し, ロシアとの交易と蝦夷地開発の必要性を説く
1758年 _____ 事件 (公家に指南した _____ を京都追放) } 尊王論者 1767年 _____ 事件『 _____ 』を著した _____ を処刑 } 弾圧事件	
_____ 年~ _____ (東北地方での冷害が原因→のち全国的に拡大)	
1784年 _____ [_____] を _____ (世直し大明神と呼ばれる) が刺殺	
1786年 徳川家治(10代将軍)死去 (田沼意次が老中を罷免→天明の飢饉で餓死者を出さなかった _____ が老中に就任)	
_____ 年 _____ (江戸・大阪を中心とする各都市で起きた下層都市民による暴動)	

家
斉



(天明の飢饉 in 『 _____ 』)

貨 幣 経 済 の 浸 透	① 農業生産力の向上 (1) <u>耕地面積の拡大</u> (新田開発の進展) (2) <u>商品作物の栽培</u> (売買で貨幣に交換) (3) <u>金肥の普及</u> (貨幣を用いて購入) (4) <u>農具の改良</u> (貨幣を用いて購入) ↓ ② <u>貨幣(商品)経済の浸透</u> 村役人層 (——) ← 土地を質入れして借金 → 本百姓層 (貧農) ↓ 借金返せず土地とられる ↓ 村役人層は困窮した百姓の土地を質流れの形で集めて, 地主に成長 ★ 零細農民を年季奉公人として使う地主の経営形態を——という ③ <u>本百姓の階層分化(本百姓体制の動揺)</u> → <u>豪農(村役人層)・貧農(小百姓層)に階層分化</u> → (1) 豪農 (農村部に形成された——(——)を拠点に, 貧農を商品生産の労働者として使用するなど<u>商人的側面</u>を持つ——へと成長) → (2) 貧農 (豪農の下で働く<u>水呑百姓(小作人)</u>に転落する者や, 都市へと流入して下層町人or——(ホームレス)となる者が現れる) ↓ 豪農(村役人)と貧農(小百姓)の対立が激化 → ——・—— (村役人の不正を追求)	—— [米価安・諸色高] —— ① <u>米価安の諸色高</u> (米の増産・城下町や都市の人口増加による需要増が原因) ↓ ② <u>幕府・諸藩の窮乏化</u> (1) 商人からの—— ★ —— (商人が大名に対して行う貸付) (2) —— (——)・—— (家臣の俸禄の一部・半分を借上げる) ③ —— の困窮 ——・——は, 幕府から支給された——を——(——)に換金してもらうが, 米価安のため受け取る金額は減少→生活は困窮し, ——(——)から借金をする ④ 幕府・諸藩の対策 → <u>年貢増徴・——制</u> (幕府・諸藩が特定商品の仕入れ・販売を独占) ↓ 都市の治安が悪化し犯罪増加・農村の人口減少により農村荒廃 → 飢饉時に——が発生 → 百姓の他国への出稼ぎが増加
---------------------------------	---	---

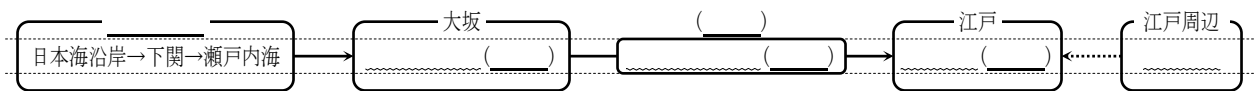
[寛政の改革の特徴]				
[藩主→老中] ★ _____ の孫/ _____ の子				
①復古的理想主義 (理想=_____)				
②農本主義 (田沼意次の商業中心政策から転換)				
③幕府権威の回復 (文武の奨励・思想統制)				
★『_____』(定信の自叙伝)・『_____』(定信の随筆)				
政治(農村政策・都市政策)		思想・風俗統制		
財政再建	①_____ (質素節約をうながし贅沢を禁じる)	思想・風俗統制	①_____ (_____ 年) (幕臣の士風刷新・民衆教化をはかる) 儒学のうち _____ を _____ とし、 _____ ・ _____ ・ _____ などの学派を _____ とし、 _____ での _____ 以外の講義禁止を大学頭 _____ に布達 ★寛政の三博士= _____ ・ _____ ・ _____ (→のち _____) →のち、聖堂学問所は幕府直轄の _____ となる(1797)	
商業統制	②_____ (諸物価などを強制的に引き下げる命令) ③_____ (_____ 年) (_____ の _____ (蔵宿) に対する救済法) _____ 年以前の借金の帳消し/ _____ 年以内の借金は低利で年賦返済 →打撃を受けた札差に対しては幕府の _____ が低金利で融資		②出版統制令(1790) (風俗を乱す出版物を禁じる) → _____ (著書が発禁処分となり、禁刑に処される) ★寛政の三奇人= _____ ・ _____ ・ _____ 『 _____ 』(朝鮮・琉球・蝦夷の地理的關係を解説) 『 _____ 』(ロシアの南下を警告し、海防の警備を主張) 「 _____ より唐・蘭迄境なしの水路也… _____ にのみ備るは何ぞや」 → _____ (遊里小説の _____ 作者) 『仕懸文庫』 → _____ (絵入小説の _____ 作者) 『金々先生栄花夢』 → _____ (洒落本・黄表紙の出版元→家財半減の処分)	
農村政策	④他国出稼制限令 (百姓の出稼ぎを禁止・制限) ⑤_____ (江戸に流入した農民に資金を与えて帰農を奨励) ⑥_____ (出産直後の新生児を殺す _____ などを禁止) ⑦_____ (諸藩に石高1万石につき米 _____ 石を粃米で貯蓄させる) → _____ (富裕者に各地に設けた穀物を拠出させておく穀物倉) → _____ (一般住民に各地に設けた穀物を拠出させておく穀物倉)			
都市政策	⑧_____ (_____) (非常時の貧民救済資金に充てる) ↓ 町入用(町費)の節約分の _____ %を _____ に積み立てる ⑨_____ (江戸町会所の運営など幕府に協力する) 幕府に登用された両替商を中心とする江戸の豪商10名 ⑩_____ (_____) (_____ [_____] の建議) 江戸の治安維持を目的に石川島に設置した _____ の収容施設		朝幕関係	③_____ (1789～1793) 1789年、 _____ 天皇は皇位についたことのない実父の閑院宮 _____ に太上天皇の尊号を宣下したいと伝えたが、定信の反対で実現されなかった。その後、武家伝奏ら公家は再び尊号宣下の許可を求めたが、定信は拒絶し1793年に公家を処分した。だが、事件をめぐる将軍家との対立もあり定信は老中を辞職し、この事件を契機に朝幕間の協調関係は崩れ、尊王論の高まりとともに天皇の権威は浮上していった。

[NOTE]

_____ [藩政改革 (寛政の改革前後)] _____ 熊本藩 = _____ (銀台) 藩校 = _____ ・ _____ の専売 米沢藩 = _____ (鷹山) 藩校 = _____ ・ _____ の専売 秋田藩 = _____ 藩校 = _____ ・ 秋田杉の専売		at 浅草蔵前 幕府の御蔵 → ⑧ (蔵米) → 旗本・御家人 → 札差(蔵宿) 旗本・御家人は札差(蔵宿)に蔵米を換金してもらう but 米価安のため困窮→札差(蔵宿)からの借金が增大 ⑨ (年貢) 棄捐令(6年以前の借金を帳消し) →5年以内の借金は低利で返済	
_____ [儒学(儒教)] _____ _____ ... 「 _____ 」 君臣・親子などの上下の身分秩序を重んじる _____ ... 「 _____ 」 知識は行動・実践を通して本当の知識となる _____ (_____ の古代聖賢に立ち返る) _____ (朱子学・陽明学・古学を取捨選択)		<農村> 豪農 貧農 ↓ 困米(大名) 義倉(富裕者) 社倉(一般農民) 天明の飢饉を背景に、飢饉・凶作に備えて あらかじめ米や金を貯蓄させておく	
		<江戸> 下層町人となる → 旧里帰農令(資金を与えて帰農させる) 無宿人となる → 人足寄場(石川島)(無宿人の収容施設) →職業訓練をさせて社会に復帰させる 七分積金 (七分金積立)	

[_____ (文化・文政時代)の特徴]		[老中 (文化期→文政期)]	
[11代將軍→ _____]		文化期＝ _____ (寛政の遺老と呼ばれる)	
①將軍家斉による放漫政治		文政期＝ _____ (賄賂政治で腐敗させる)	
↓ 將軍職を _____ [12代將軍]に譲った後も _____ (前將軍)として実権掌握		元文小判 (悪銭) から _____ (更なる悪銭)へ改鑄	
②化政文化の開花 (享楽的な江戸中心の庶民文化)		→幕府財政を補うため、出目による財源獲得をはかる	
_____ 年 _____ (関八州の幕府領・私領の区別なく巡察し、犯罪人の逮捕にあたる＝「八州廻り」と呼ばれた)			
↓ 関八州など江戸周辺に増加していた無宿人や博徒 (ばくち打ち) が治安を乱していたため、関東地方の治安維持を目的に設置			
_____ 年 _____ (_____) (関東取締出役の下部組織で、近隣の数力村で結成させた組合村)			
1832 年～ _____ (冷害・洪水・大風雨による全国的な凶作)			
_____ 年 _____ (甲斐国)・ _____ (三河国) (幕領内で起きた一揆)			
_____ 年 _____ (大坂町奉行所の元 _____ で _____ 学者→辞任後に家塾の _____ を開く)			
↓ 高騰による貧民救済のため、「 _____ 」の旗を立てて _____ で挙兵するが鎮圧される			
1837 年 _____ (「大塩門弟」と称し越後・越前・越中・越後で蜂起した _____ 学者)			
1838 年 _____ が『 _____ 』を _____ [12代將軍]に提出			
_____ (国内の矛盾と対外的危機) に対して、幕政改革の必要性を説く			
_____ [_____ の特徴]			
[_____ 藩主→老中]			
①復古的理想主義 (理想＝ _____)			
②幕府権威の回復			
諸統制政策 (農業・商業)		政治 (幕府権力の強化)	
財政再建	① _____ (質素儉約をうながし贅沢を禁じる)	風俗統制	①風俗取締令 (綱紀肅正を目的に、日常の衣食住全般にわたる)
	②印旛沼の干拓 (→水野忠邦の失脚で中止)		→奢侈禁止令 (贅沢品や華美な衣服・高価な菓子・料理などを禁止)
商業統制	③ _____ (旗本・御家人の札差(蔵宿)に対する救済法)	幕権強化	→芝居統制令 (江戸歌舞伎3座を浅草移転・ _____ の江戸追放)
	④ _____ (諸物価などを強制的に引き下げる命令)		★ _____ (市中取締りに辣腕をふるった江戸町奉行)
農村政策	⑤ _____ (_____ 年) (江戸市中の物価高騰抑制のため)	→ _____ (恋愛小説の _____ 作者) 『春色梅児誉美』	
	_____ ・ _____ ・その他の株仲間の解散を命じる	→ _____ (絵入小説の _____ 作者) 『修紫田舎源氏』	
	→株仲間に参加していない江戸周辺の _____ らの自由取引を認める	②三方領知(地)替 (川越藩の財政救済策)	
	but! 株仲間の解散により江戸への商品輸送量はさらに減少	_____ 藩・ _____ 藩・ _____ 藩の3藩を玉突き式に転封させる計画	
	→商品流通が機能なくなり物価高騰→ _____ (_____ 年)	→三方領知替反対一揆など領民の反対もあり、転封命令を撤回	
	★ただし、当初は冥加・運上を免除、株仲間の制限を行わない	★初の転封撤回→幕府に対する藩権力の自立を示す結果となる	
	⑥ _____ (農村の人口確保と江戸の人口増加抑制のため)	③ _____ の再興 (_____ を祀る日光東照宮への参詣)	
	百姓の出稼ぎを禁止して、江戸に流入した貧農の帰農を強制	④ _____ (_____ 年) (財政安定と対外防備の強化をはかる)	
		_____ ・ _____ 周辺十里四方の大名・旗本領 _____ 万石を直轄地にする	
		→代償として、幕領のうちの年貢収納率の低い代替地を用意する	
		but _____ [老中]を中心に大名・旗本が反対したため撤回	

[NOTE]



- ①江戸後期になると、生産地から西廻り航路を通じて大坂へ商品が届く前に、新興の廻船業者が下関・瀬戸内海などで商品を売買
↓ ex. _____ (西廻り航路を就航) ・ _____ (尾張国知多半島を拠点) ・ _____ (長州藩が下関に設けた資金の貸付け・委託販売を行う役所)
- ②生産地から大坂に送られる商品の流通量が減少→大坂で品不足→江戸への輸送量も減少→江戸で品不足により物価高騰
→水野忠邦は株仲間が買占めなどをして商品流通を独占しているため物価が高騰していると判断して、 _____ (_____)を発布
but 株仲間の解散により、江戸への商品輸送量はさらに減少し、物価はさらに高騰し経済混乱→ _____ (1851)が出される

[A] 百姓一揆

① _____ (江戸時代の農民一揆) ★享保期以降増加→件数= _____ 件以上			
一 揆 の 形 態	前期 (17 世紀)	中期 (18 世紀)	後期 (19 世紀)
	年貢減免を要求→村役人が農村を代表して直訴	年貢減免・藩による専売制の撤廃を要求 →村役人層を含む全農民層が参加して蜂起	新時代への期待と百姓一揆が結びついた 貧農による特権商人・豪農への打ちこわし
一 揆 例	「 _____ として伝えられる」 _____ (下総) 下総国佐倉藩堀田氏の苛政を将軍に越訴 _____ (上野) 上野国沼田藩真田氏の苛政を幕府に越訴	1728 年 _____ (筑後) 1793 年 武左衛門一揆 (伊予) 「 _____ (藩領全域に及ぶ一揆)」 1686 年 _____ (信濃国松本藩) 1738 年 _____ (陸奥国磐城平藩) ★ _____ (円形を中心に放射線状に署名)	_____ 年 _____ (甲斐) _____ (三河) [その他] 1856 年 _____ (岡山藩) 部落差別政策に反対

② _____ (村役人と小百姓の対立=村役人の不正を追及し、代官・郡奉行に訴える) ★18 世紀以降増加

③ _____ (下層都市民・農民による米商人・金融業者への襲撃)

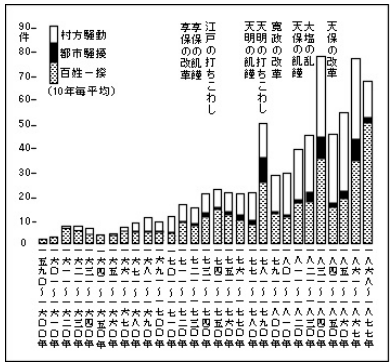
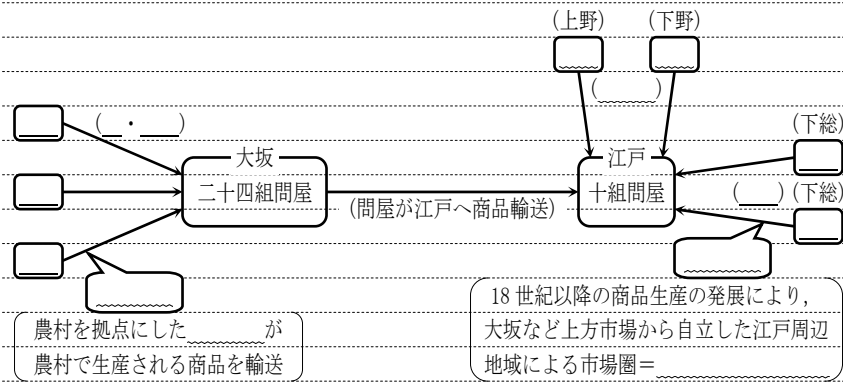
1733 年 _____ の打ちこわし (最初の打ちこわし)
_____ の米問屋が襲撃される (幕府の米価引き上げ政策に関わったため)
_____ 年 _____ (江戸・大坂を中心とする各都市で起こる)

④ _____ (_____ による指導のもと、大坂問屋(株仲間)による流通独占に反対する合法的農民闘争の一つ)

1823 年 大坂周辺で最初の国訴
_____ ・ _____ ・ _____ 国 3ヶ国の 1307 村で _____ をめぐる大坂問屋の流通独占に反対

「三大飢饉」
_____ (_____ 年)
西日本で長雨→ _____ の大発生
_____ (_____ 年～87 年)
東北地方の冷害・ _____ 山の大噴火
_____ (1832 年～39 年)
冷害・洪水・大風雨による全国的凶作

[NOTE]



[NOTE]



[A] 欧米列強の接近

諸 外 国 の 接 近		幕 府 の 対 応	
(寛政の改革)	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → 1798 年 _____ の蝦夷地派遣 (最上徳内と共に派遣) _____ の命で、漂流民の _____ を送還 → ロシア漂流記を _____ が『 _____ 』に記録	島に「大日本恵登呂府」の標柱を立てる ★東蝦夷地直轄 (1799) → [_____ 奉行] 設置 (1802)	
	年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航 → _____ 年 _____ (_____) ラクスマンに交付した _____ (_____ への入港許可証) を持参 (文化3年) 漂着した外国船に薪水・食糧を与える ↓ ★西蝦夷地直轄 (1807) → [_____ 奉行] 設置 (1807)	_____ の権太調査 _____ が島であることを確認 (_____ を発見)	
	年 _____ 号事件 (イギリス) _____ の余波を受け、イギリス軍艦フェートン号が _____ 船を追って長崎に侵入 → _____ [_____ 奉行] が自害 → ★イギリス船が宝島 (薩摩)・大津浜 (常陸) に上陸 (_____) → _____ 年 _____ (_____) _____ 事件 (ロシア) _____ 島を測量中のゴロウニンを抑留 ★『 _____ 』 → ロシアは報復として _____ を抑留 (のち両者釈放)	(文政8年) 清・朝鮮・琉球・オランダ船以外の外国船の撃退を命じる	
	年 _____ 号事件 (アメリカ) モリソン号が漂流民の送還・日本との通商を求めて来航 → _____ (相模)・山川沖 (_____) で砲撃	_____ 年 _____ (幕府の措置を批判した洋学者を処罰) _____ 『 _____ 』 _____ 『 _____ 』 _____ (連坐を恐れて自殺)	
	1840 年 ~ _____ (イギリス VS 清) _____ 年 _____ (清はイギリスに _____ を割譲) → _____ 年 _____ (_____)	1841 年 軍事改革 (_____ を招き西洋砲術を採用) _____ 年 _____ (文化の薪水給与令に反す)	
(大御所時代)	_____ 年 _____ 国王 _____ の開国勧告 _____ 年 _____ [アメリカ東インド艦隊司令長官] が _____ 来航 ↓ _____ 年 _____ [アメリカ _____ 艦隊司令長官] が _____ 来航 → _____ 年 _____ (_____) (嘉永6年) 4隻の「黒船」(旗艦 = _____ 号) を率いて開国を要求 → _____ に上陸し、 _____ [米大統領] の国書を提出 ★阿部正弘は開国要求に対し大名・幕臣に対応を諮問	[_____ by _____ [老中]] ①人材登用 _____ [海防参与]・ _____ [海防掛・勘定奉行] ②国防強化 大船建造禁 (武家諸法度の規定) の緩和 _____ が _____ に _____ ・江戸品川沖に _____ を築造 ③洋式訓練 _____ (江戸で武術訓練)・ _____ (長崎で海軍訓練) ④洋学研究 _____ (1855) → _____ (1856) (のち _____ → _____) ★ _____ (1811年に設置した蘭書翻訳機関) を強化	
	1854 年 ペリーが軍艦 7 隻を率いて再来航 → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) ★『 _____ 』(ペリー艦隊の日本遠征記録)	①アメリカ船に燃料・食料を提供する ②難破船や乗組員を救助する ③ _____ の開港 (_____ の駐在を認める→のちハリス着任) ④アメリカに片務的 _____ を与える	
	(1853 年 _____ [ロシア使節] が _____ に来航) → 1855 年 _____ (_____ で川路聖謨が締結) ★ _____ の大地震 (1855年に江戸に発生した地震→「鯨絵」が多数描かれる)	①下田・箱館以外に、新しく _____ を開港 ②日露の国境は _____ 島・ _____ 島の間 (_____ は两国雑居)	
	1856 年 _____ [アメリカ駐日 _____] の _____ 着任 1856 年 _____ 事件 (第二次アヘン戦争の契機となった事件) → _____ 年 _____ (→のち、 _____ とも締結) 1858 年 _____ (清が英・米・露・仏と結んだ講和条約)	★ _____ (米・英・露・蘭・仏との修好通商条約) ① _____ [老中] が通商条約調印の勅許要求 → _____ 天皇が拒否 ② _____ [_____] が無勅許のまま調印 (_____) ① _____ (→ _____)・ _____ (→ _____)・ _____ の開港 ② _____ の開港 ③通商は自由貿易とする ④開港場に _____ (外国人の居住する地域) を設ける ⑤ _____ (治外法権 = 外国人が在住国の裁判を受けない) _____ (関税自主権がなく両国の協議で関税率を決定)	
	[政局の転換]		1860 年 日米修好通商条約の批准書交換 _____ ホー・ハタン号 (米 艦) = _____ [_____ 奉行] _____ (随行艦) = _____ [幕臣]
[_____ 派] [_____ 派] _____ [紀伊藩主] _____ [徳川斉昭の子] _____ [_____ 藩主] _____ [前水戸藩主] _____ [_____ 藩主] _____ [越前藩主] _____ のち _____ に就任 (1858) _____ [薩摩藩主]			
VS 1858 年 ~ _____ (井伊直弼が反対派の大名・志士らを弾圧) _____ (越前藩士)・ _____ (長州で _____ を開く) _____ (頼山陽の子)・ _____ (若狭小浜藩士) _____ 年 _____ (尊攘派の _____ 脱藩士らが _____ を暗殺)			

[B] 貿易の開始

貿易の開始

- ①貿易開始 _____ 年～
②貿易形態 _____ 貿易 (開港場に設けられた外国人の居住地域での貿易)
③貿易港 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
④貿易相手 1位= _____ ・2位= _____
★アメリカは _____ で後退
⑤輸出品 1位= _____ ・2位= _____ ・3位= _____
★蚕卵紙は _____ における蚕病の流行が背景
⑥輸入品 1位= _____ ・2位= _____

[産業の発達・衰退]

発達=製糸業 (_____ 経営が発達→ _____ を輸出)
衰退=絹織物業 (原料の生糸不足が原因)
綿織物業 (安価な綿織物輸入が原因)

貿易の問題点

[大幅な輸出超過(問題点①)]

生産地と結びついた _____ が問屋を通さず、
直接商品を開港場へ送る→江戸・国内の品不足=物価高騰

_____ 年 _____ (重要輸出5品の江戸への回送を命じる)
五品= _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____



_____ (在方)を拠点とする _____
(_____)が _____ (御府内)を通さず
開港場 _____ (_____)へ商品を輸送
↓
江戸などで品不足により物価高騰
→まずは江戸への商品輸送を命令
= _____ (_____ 年)

[金銀交換比価の相違(問題点②)]

金銀比価=日本 (金 : 銀) ⇄ 外国 (金 : 銀)
→大量の金貨が流出

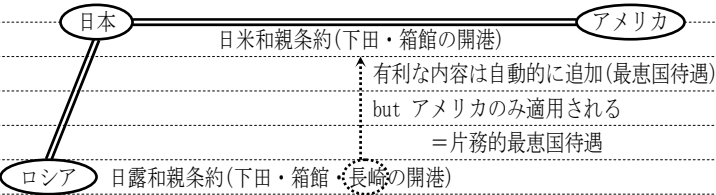
_____ 年 _____ 铸造 (金流出防止のため悪貨铸造)
貨幣の価値が下落したため物価高騰

[_____ (排外的政治運動)]

1860年 _____ (総領事ハリスの通訳) 暗殺
1861年 _____ 事件
↓
水戸藩浪士が江戸高輪のイギリス公使館を襲撃
1862年 _____ 公使館焼き打ち事件
_____ らが _____ のイギリス公使館を襲撃

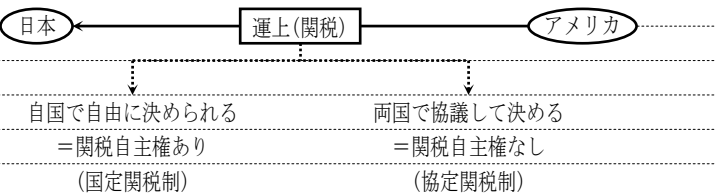
[NOTE]

<最惠国待遇(条約締結国の一方が、条約を締結した相手国に対して、
第三国に与えている最も恵的な待遇と同等の待遇を与えること)>



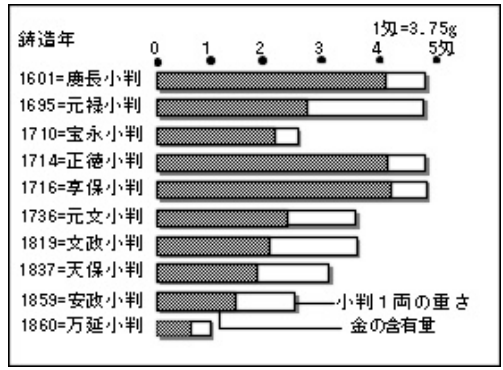
<協定関税制>

品目ごとの関税率の詳細は貿易章程に記載
輸入関税率=平均 20%→のち 5% by 改税約書(1866)



<貿易章程の関税率>

輸入品=0% (衣服・家財など)・5% (食糧など)・35% (酒類)・20% (その他)
輸出品=5% (輸入品・輸出品の運上(関税)はどちらも幕府の運上所(税関)に納入)



[A] 公武合体と尊攘運動

幕府の動向	薩摩藩の動向	長州藩の動向
1862年 (天皇の妹) 降嫁 [老中] が 論を推進 → [14代将軍] への降嫁を実現 年 (→安藤信正が失脚) 和宮降嫁に激怒した尊王攘夷派の 水戸脱藩士が [老中] を襲撃 [(勅命による幕政改革)] = [徳川斉昭の子] = [藩主] = [藩主] 京都所司代の上位で、京都の治安維持にあたる ★参勤交代を3年に1回に緩和・西洋式軍制採用	1862年 (薩摩藩主島津忠義の父) ① 勅許のため、藩兵を率い京都へ上洛 ② 久光が京都で倒幕挙兵を企てる 薩摩藩士を一掃 (事件) ③ 朝廷から幕政改革の勅許を受ける ④ [勅使] と共に江戸へ赴く 年 事件 薩摩藩士によるイギリス人殺傷事件 年 (生麦事件の報復) イギリスが薩摩藩と交戦→講和成立	図解 NOTE [八月十八日の政変] 朝廷 孝明天皇 ② 工作 公家 (公武合体派) 公家 (尊王攘夷派) ③ 攘夷を要求 幕府 (公武合体論) ④ 攘夷を命令 薩摩・会津藩 (公武合体論) 長州藩 (尊王攘夷論) ① 京都潜入 (工作) 1863年 長州藩外国船砲撃事件 長州藩が下関で外国船を砲撃 [尊攘派の挙兵] ① (大和) = ② (但馬) = 沢宣嘉 ③ (水戸) = 武田耕雲斎 年 () 指導のもと長州藩が京都に 攻め上るが 藩中心に鎮圧 1864年 四国艦隊下関砲撃事件 の艦隊が下関を砲撃 [長州藩内部の争い] ① 第一次長州征討・四国艦隊下関砲撃事件後、 長州藩では上級武士 (佐幕派) が実権を握る → 長州藩は幕府に恭順の態度を示す ② が (身分に関わりなく編制 された有志の軍隊) を率いてクーデター ③ 下級武士 (討幕派) が上級武士 (佐幕派) から主導権を奪い返し、討幕の動きを強める → 木戸孝允・高杉晋作が実権を握る 下級武士 (西郷隆盛・大久保利通) が実権を握る 年 (土佐藩士) の仲介 薩摩藩 = 長州藩 = (薩長同盟成立後、長州藩は薩摩藩から武器を購入→英人のと長崎で取引)
年 藩が公武合体派の公家と画策 → 長州藩と から尊攘派の 公家7名を京都から追放 (七卿落ち) 1864年 事件 が池田屋に会合中の長州藩 尊王攘夷派の志士を殺傷・逮捕 (局長 = 副長 =) 1864年 禁門の変を理由に、幕府が長州藩を攻撃 [欧米による圧力] ① (年) 列国が兵庫沖に軍艦を送り圧力かける → 孝明天皇が修好通商条約を正式に承認 ただし、兵庫開港は認めず ② (年) と結んだ貿易に関する協約 → 輸入関税を平均 % から % に引き下げ → この結果、年以降輸入超過となる ③ 開港問題 (年) 西日本の諸藩の反対を押し切って兵庫を開港		
年 奇兵隊を中心とする長州藩に連戦連敗 → 将軍 の急死を理由に中止 1866年 が 15代将軍に就任 ★ を進める		

薩長両藩(新政府)の動向	幕府の動向
反幕・倒幕運動(_____ [イギリス駐日公使] の援助)	公議政体論(_____ [フランス駐日公使] の援助)
1867年 明治天皇即位(← _____ 天皇死去) 1867年 _____ (10月14日) → _____ 年 _____ (____月____日) 朝廷から薩摩藩主・長州藩主に下された徳川慶喜の討伐命令 → _____ (公家)・大久保利通ら薩長藩士が画策(偽勅説が有力) _____ [社会の混乱] ① _____ (世直しを求めた百姓一揆) ② (政府から公認された13派の民間神道団体) の流行 ex. _____ (____)・_____ (____)・_____ (____) ③ _____ (_____ への民衆の集団的な参詣) の流行 ↓ 約60年周期で発生(1650・1705・1771・1830年に数百万人が参詣) ④ _____ (____年から広がった民衆乱舞) 東海地方に伊勢神宮のお札が降ったことが契機 _____ 年 _____ (____月____日) ① _____・_____・_____ の廃止→天皇中心の新政府を樹立 ②三職(_____ [皇族]・_____ [公家・大名]・_____ [有力藩士]) の設置 1867年 _____ (12月9日夜) → _____ ① _____ の戦い(_____) (旧幕府軍と薩長軍が交戦→薩長軍が勝利) →江戸へ引き上げた慶喜追討のため、薩長を中心とした東征軍(官軍)を派遣	_____ [_____ (1868～69) (新政府・旧幕府間の戦争)] _____ ★ _____ [_____ 隊長] は _____ を掲げ進軍するが偽官軍として処刑 ②江戸城の無血開城(旧幕府側の _____・新政府側の _____ の会談) ↓ ★江戸を東京に改称→のち、 _____ から _____ に遷都(_____ 年) ③上野戦争(旧幕臣有志が _____ を結成し上野で新政府軍に抵抗) _____ (長州藩士) の指揮→ _____ など彰義隊は全滅 ④ _____ (奥羽越前藩が新政府に対抗して結成した同盟) ↓ _____ を擁して、東北25藩・越後6藩が参加 ⑤北越戦争(河井継之助[長岡藩家老]の抗戦も長岡城が落城) ⑥会津戦争(松平容保[会津藩主]を中心に新政府軍に徹底抗戦) ↓ 会津若松城の落城(_____ の集団自決)→奥羽越前藩同盟も崩壊 ⑦ _____ 戦争(_____ 年)→ _____ 陥落(戊辰戦争終結) → _____ [旧幕臣] 降伏・土方歳三[元新撰副将] 戦死
_____ 年 _____ (新政府の基本方針) (3月14日) 起草= _____ (越前藩士) 修正= _____ (土佐藩士) 加筆= _____ (長州藩士) 形式=明治天皇が天地神明に誓う形で発布 内容=公議世論の尊重(1.2.3条)・開国和親(4.5条) _____ 年 _____ (民衆の心得を表す5種の _____) (3月15日) ①五倫(儒教)道德の遵守 ②徒党・強訴・逃散の禁止 ③キリスト教の禁止 but 長崎の _____ で列国から批判を受ける →キリシタン禁制の高札を撤去(_____ 年)	_____ [_____ (戊辰戦争の戦費を補うため新政府が発行)] _____ 1868年 _____ (高額の不換紙幣) の発行(_____ の建議) 1869年 _____ (小額の不換紙幣) の発行
_____ 年 _____ (三職を廃止して新政府の政治組織を定める) (4月21日) 起草= _____ [土佐藩士]・ _____ (佐賀藩士) 参考= _____ 憲法・『 _____] 『 _____]・『 _____] ① _____ の復活(太政官への権力集中) ②形式的な三権分立(_____・_____・_____ を設置) ③高級官吏の4年任期と互選による交代制 ④地方制度は _____ 1868年 _____ (天皇一代の間は一つの元号) ★明治に改元(1868)	

[NOTE]

_____ [_____ (金貨 or 銀貨) と交換できる紙幣)] _____	_____ [_____ (金貨 or 銀貨) と交換できない紙幣)] _____
① _____ (紙幣と金貨が交換できる・貿易取引を金貨で決済) ② _____ (紙幣と銀貨が交換できる・貿易取引を銀貨で決済) →通貨発行量は自国の正貨保有量と同じにする =通貨流通量が安定するので物価・紙幣価値は安定	自国の正貨保有量にかかわらず自由に紙幣を発行 →通貨発行量は政府がコントロール(_____) ①通貨発行量が多い場合→ _____ (物価高)・紙幣価値は下落 ②通貨発行量が少ない場合→ _____ (物価安)・紙幣価値は上昇